

京都ものづくり若手リーダー育成塾

未曾有の不況の中、打開策として新分野への進出や自社の技術の強みを活かした新しい製品開発をお考えではありませんか。

当センターでは、このような新しい領域を切り開いていく役割を担う人材を育成するため、平成19年度から若手リーダー候補を対象とした育成塾を開催しています。この塾では、チームとしての製品開発に必要なリーダーの知識とプロジェクトの遂行に必要なリーダーシップを身につける「プロジェクト・マネジメント」と顧客・市場のニーズから独自の開発テーマを導き出し、様々な発想法で全く新しい商品イメージを創造する「製品コンセプト形成」の2つのグループワーク形式のセミナーを実施しています。

平成21年度も引き続き5月に公募の案内をさせていただきますので、ぜひ、ご参加ください。

平成20年度の実績概要

平成20年度は、20社23名の塾生が集い、新たに「学び」と「挑戦」を行いました。また、1期生との合同セミナーや交流会で、塾生同士の連携も生まれつつあります。



プロジェクト・マネジメント

◇プロジェクト・マネジメントとは

チームとは何か。チームでプロジェクトを遂行するメリットは何かなど、演習を通じて体験しました。具体的には、チームにおいてPDCAサイクルを展開するためにリーダーはどのような役割を担うべきかについて学習しました。

■プロセスを設計する

プロジェクトの目的確認から、事項計画作成までのプロセスを実際に演習し、プロジェクト計画を立案しました。

■コミュニケーションスキルを高める

「チームで成果を上げるために必要な要件は何か」について、ゲームを通じて体験し、その後、コミュニケーションの方法について学習しました。

■リーダーシップを発揮する

研修の内容を活かし、「チャレンジ促進委員会」として、プロジェクト発足会議のシミュレーションを行いました。



グループで話し合い、コミュニケーションスキルを高める



グループで、開発アイデアをまとめ、リーダーとしてプレゼンテーションをする

製品コンセプト形成

◇商品開発プログラム

商品を取り巻く3要素「ヒト・モノ・バ」を軸に、①顧客を意識した仮説をつくる ②自社が勝てる独自のテーマをつくる ③顧客が喜ぶ(欲しくなる)要素をつくる ④デザイン、設計、市場導入を考える の4つのステップでアイデアを絞り込む方法を学びました。

■顧客のイメージを絞り込む

どのような人を顧客とするのか明確にするために、特定の人の嗜好や生活シーンを想定し、写真を使ってイメージをつくりました。

■アイデア発想法にトライ

思考の軸から発想を広げるために、焦点法、逆設定法、ブレーンライティング法に挑戦しました。

■領域ごとに分けてアイデアを絞り込む

発想法で導いたアイデアを商品コンセプトとしてまとめ、最終的にバーチャルカタログにまとめました。



アイデアを具体的にバーチャルカタログ化する



成果をまとめ京都ビジネス交流フェアに出展

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
 京都ものづくり若手リーダー育成塾事務局

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9491

E-mail:waka-juku@mtc.pref.kyoto.lg.jp